

県中広報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)
<http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/>

基本姿勢

“主体 信頼 挑戦”

広島県公立中学校長会 第3回理事会

令和7年9月12日（金）、東区民文化センターにおいて、令和7年度第3回理事会を開催しました。

挨拶

【河北会長挨拶より抜粋】戦後80年の節目に、令和7年8月8日、第75回広島県中学校長研究大会を広島国際会議場で開催できたことはたいへん意義深いことでした。また、広島市公立中学校長会が再加入されてから初めて主管となり、会を成功に導いてくださいました。早くから綿密な計画を立てられ、広島市が一丸となられて準備・運営をしていただいたおかげで、県内の校長一人一人が主体となって参加することのできる充実した大会となりました。

また、分科会では、各地区的提案者、司会者、運営関係者の皆様にもたいへんお世話になりました。まさに、今年度の基本姿勢に掲げました「主体・信頼・挑戦」の姿が現れた会となりました。改めて、皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

（※続けて、新任校長会、顧問会、中国・四国中学校長会連絡協議会等について、報告がなされました。）



高校総体のエピソードも紹介

講話

「組織的な生徒指導の在り方について」

講師 広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課 生徒指導係長 土田 俊弘 様

令和4年12月改訂の「生徒指導提要」（文部科学省）及び令和7年3月改訂の「生徒指導の手引き」（広島県教育委員会）の改訂の趣旨やポイントを踏まえ、今、求められる実践について御助言いただきました。キーワードは、「最初の笛」、「発達支持的生徒指導」、「教育活動のあらゆる場面で生徒指導上の実践上の視点を機能させること」、「授業が生徒指導の最大の場面」、「褒めること認めることと同じように大切なのは叱ること、褒めること認めることより難しいのは叱ること」でした。そして、講話は「生徒指導は子供の命を守れるそして救える機能である」という言葉で締めくられました。

報告

次の報告がありました。

- (1) 会務報告（6月～9月）……………林 健太郎 事務局長
- (2) 第1回中国・四国中学校長会連絡協議会報告……………林 健太郎 事務局長
- (3) 県公連第2回理事会・評議員会報告……………郷地 忠幸 副会長
- (4) 県公連第2・3回不祥事防止対策特別委員会報告……………荒本 礼二 幹事
- (5) 第75回広島県中学校長研究大会広島大会報告……………広島大会実行委員会
- (6) 四専門委員会報告
 - 学校経営：奥本 実 委員長 教育研究：大島 美紀 委員長
 - 進路指導：中山 勝志 委員長 生徒指導：坂田 正治 委員長
- (7) 県中学校教育研究会……………居川あゆ子 会長

議事

- (1) 第76回広島県公立中学校長会研究大会西部大会について……………現地実行委員会
- (2) 広島県教育委員会への提言書について……………友瀧佳司之 事務局次長
- (3) 広島県公立中学校長会教育ビジョンの改訂について……………木村 健二 幹事
- (4) 令和8年度県中行事計画（案）について……………林 健太郎 事務局長

諸連絡

- (1) 古岡奨学金の推薦について
- (2) 令和8年度広島県公立高等学校入学者選抜実施要項について
- (3) その他
 - ① 第4回理事会案内 ② 第2回常任理事会案内 ③ 県中広報第2号
 - ④ 全国中学校研究校便覧第38集の推薦校について ⑤ 県公連研修会

第39回広島県公立中学校長会顧問会

8月30日（土）、東区民文化センターにおいて第39回広島県公立中学校長会顧問会を開催しました。顧問（歴代の会長）10名にお越しいただき、広島県公立中学校長会の今年度の取組状況等を報告しました。

まず、多くの顧問の方から、「広島市公立中学校長会と再び一体となったことはたいへんよいことであり、嬉しく思っている。広島県公立中学校長会として、広島市公立中学校長会との一層の結束を図るように。」とエールをいただきました。

また、教育内容について、コミュニティ・スクールの実践、不登校等生徒への対応、主体的・対話的で深い学びの実現、生成AIへの対応などについて、御質問・御意見をいただきました。さらに、「働き方改革を進めつつ、どのように時間を有効に活用して研修を実施するのか」、「教頭をはじめ人材育成の取組」、「校長としてのビジョンを示すことの大切さ」など、校長としてのマネジメント全般に渡って、厳しく温かい御助言をいただきました。

顧問会の県中校長会に対する情熱や思いを受け止め、県中校長会が一体となって研究や活動を行っていくことの意義を再確認するとともに、「主体、信頼、挑戦」の基本姿勢のもと、取組をさらに進めていく決意を強く持つことができました。



10名の顧問をお迎えして

第3回・第4回四専門委員会

8月27日（水）、東区民文化センターにおいて第3回四専門委員会を開催しました。委員会ごとに、講師を招いての研修、アンケート調査の結果分析・考察を行い、今後の取組の重点について協議しました。

11月12日（金）、東区民文化センターにおいて第4回四専門委員会を開催し、委員会ごとに、本年度の研究のまとめに向けて、報告内容の確認や見直しを行いました。



進路指導委員会における協議

令和7年度広島県公立学校校長会連合会 学校経営委員会研修会

県公連の学校経営委員会では、「心理的安全性を高める職場風土の醸成」という視点で、現状と課題を明らかにし、今後の学校経営の参考となる具体的な方策について検討するため、次の内容で研修を実施しました。

令和7年10月29日（水） オンライン（Zoom）

講師 株式会社 ZENTech 代表取締役 石井 遼介 様

演題 「働き方改革を踏まえた、心理的安全性を高める学校経営」

県公連不祥事防止対策特別委員会

県公連の不祥事防止対策特別委員会（年間5回）は、各校長会の不祥事防止対策特別委員会と連携して、「不祥事防止のためのアンケート」調査の実施や「不祥事防止のための取組シート」の活用等に進めています。本委員会では、管理職が次の3点を意識して取り組むことが不祥事根絶の基盤となると提言しています。

1. 法規法令等に基づく適正な学校運営を行う。
2. 管理職自身が服務規律の遵守等について率先垂範する姿勢を見せる。
3. 校長会等によるつながりを大切にし、好事例等の情報交換や共有ができる相談がしやすい風土の醸成を進める。

「令和7年度不祥事防止のためのアンケート（中学校）の結果と考察」を、10月14日付で各都市中学校長会を通じてお届けしております。ぜひ、各学校の取組の参考にしてください。

第76回全日本中学校長会研究協議会 香川大会

全体会場となった香川県高松市のレクザム大ホールに、全国から約2,000人の会員が集まり、研究主題を「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会な社会の創り手を育てる中学校教育」と設定し、協議や実践交流を重ねました。

10月22日（水） 全日中常任理事会、全日中理事会

10月23日（木） 開会式、文部科学省説明、全体協議会、分科会

10月24日（金） アトラクション、全大会、記念講演、閉会式



香川県から次回の開催地長野県へ

「中・四国はひとつ」の合言葉のもと、広島県からは207名の会員が参加し、司会・記録をはじめ、様々な場面で活躍いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。